

Borderless IR Co., Ltd Announces Newsletter

2019年5月15日

株式会社ダイキアクシス(4245 東証1部) 2019年12月期第1四半期の概要

決算概要

○2019年度から2021年度は中期経営計画「Make FOUNDATION Plan(ESGの推進)」を策定、最初に、監査等委員会への移行と執行役員制度の導入を行った。

○主な事業戦略としては、将来の収益性の向上に重点を置き、環境機器関連事業セグメントにおいては、海外における事業展開の推進、ストックビジネスとしてのメンテナンス事業及び上水エスコ事業の営業強化、住宅機器関連事業セグメントにおいては、成長事業へ転化、再生可能エネルギー関連事業においては、循環型社会の実現と安定収益確保の強化を実施した。

○第1四半期連結累計期間における売上高は97億50百万円(前年同期比+0.3%)、営業利益は4億70百万円(前年同期比+23.1%)、経常利益は5億13百万円(前年同期比+21.4%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億2百万円(前年同期比+25.3%)となった。

○環境機器関連事業は、浄化槽排水処理システムが前年同期比増加。国内売上高では、大型案件の工事進行基準適用により概ね売上高を計上、上水事業(エスコを除く)で機器売り5案件の完成があり、前年同四半期と比べ増加。海外売上高は、代理店開拓が前進し、増加。ストックビジネスとしてのメンテナンス事業及び上水事業エスコ収入については前年同期比増加。結果、環境機器関連事業の売上高は56億68百万円(前年同期比+17.3%)、セグメント利益(営業利益)は、5億56百万円(前年同期比+33.7%)となった。

○住宅機器関連事業は、減収減益となった。建設関連業者売上は、中大型案件が少なく、ホームセンターリテール商材は、既存店への販売が減少し、住機部門工事は前期の大型店舗建築工事と同規模の案件がなかった。結果、住宅機器関連事業の売上高は35億23百万円(前年同期比-19.3%)、セグメント利益(営業利益)は、89百万円(前年同期比-45.5%)となった。

○再生可能エネルギー関連事業は、太陽光発電に係る売電事業において、順次売電を開始し前年同四半期より大幅増。その他、バイオディーゼル燃料事業は、前年同期と比べバイオディーゼル燃料の販売が増加。小型風力発電機関連事業は、販売実績はなかった。結果、再生可能エネルギー関連事業の売上高は、1億14百万円（前年同期比+184.5%）、セグメント利益（営業利益）22百万円（前年同期はセグメント損失（営業損失）56百万円）となった。

○その他の事業は、土木事業において、前連結会計年度は第2四半期連結会計期間から工事進行基準を適用。当第1四半期連結累計期間は前年同期と比べ減少。家庭用飲料水事業については、ほぼ前年同期並。この結果、その他の事業は売上高4億43百万円（前年同期比-8.6%）、セグメント利益（営業利益）は30百万円（前年同期比-50.9%）となった。

[株式会社ダイキアクシス（4245 東証1部）](#)の2018年12月期決算短信については、[こちら](#)をご参照ください。（→[2019年12月期第1四半期決算短信](#)）

リリースの免責事項

本リリースは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。なお、本サービスにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、当社は一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

リリースに関する照会先

[Borderless IR 株式会社](#)

〒103-0027 東京都中央区日本橋 1-2-10 東洋ビル 6F

T E L 03-4588-6706

info@b-ir.co.jp

Borderless IR は、国内・海外向け I R 情報配信専門の会社です。国内・世界有数のメディア、企業情報データベース、メーリングリスト等を通じ、海外投資家にダイレクトに企業の最新情報と本質的な強みを主としてニュースレターとアナリストレポートで配信しています。その他、海外 I R 支援全般を手掛けているプロフェッショナル企業です。

©Borderless IR Co., Ltd. All rights Reserved

本リリースに掲載された内容を許可なく複製、転載することを禁じます。